

2025 年 10 月 7 日

パーソナルメディア株式会社
〒142-0051 東京都品川区平塚 2-6-13 マツモト・スバルビル
TEL.03-5749-4932 FAX.03-5749-4936
E-mail: pub@personal-media.co.jp
<https://www.personal-media.co.jp/book/>

ニール・スティーヴンスン著『ターミネーション・ショック』が
パーソナルメディアより 10 月 15 日発売
～地球温暖化が深刻化した近未来が舞台の気候変動フィクション～

パーソナルメディア株式会社(代表取締役:松為彰、本社:東京、電話:03-5749-4932、資本金 1,000 万円)は、『スノウ・クラッシュ』で“メタバース”という言葉を生み出した人気 SF 作家ニール・スティーヴンスンが 2021 年に発表した話題作「Termination Shock」の邦訳版『ターミネーション・ショック』を発売いたします。

『ターミネーション・ショック』は、地球温暖化が深刻化した 2030 年頃の近未来を舞台にした近未来小説で、気候変動フィクション(Cli-Fi: Climate Fiction)とよばれるジャンルに属します。物語の中に気候に関する科学的な事実を取り入れ、読者に対して気候変動問題への認識やその解決策への模索を提起するものが多く、欧米では数多くの作品が刊行されています。

表題の「ターミネーション・ショック(Termination Shock)」とは、一度開始されたソーラー・ジオエンジニアリングプロジェクトを突然中止した場合に、気温が急激に上昇して引き起こされる壊滅的な影響を指す科学用語です。このタイトルは、気候変動という問題そのものだけではなく、それに対する緊急の「対症療法」にも大きなリスクがあるという、この問題の複雑さを示しています。

気候変動をテーマとする SF 小説として、当社が 2023 年に邦訳版を刊行したキム・スタンリー・ロビンソン著『未来省』(The Ministry for the Future)があります。海外では『ターミネーション・ショック』と『未来省』を比較した書評や学術論文などもあり、この両作品が Cli-Fi を代表する人気作として高く評価されています。

なお本邦訳版では、坂村健(東京大学名誉教授)が巻末解説を執筆し、本作品の概要や位置づけを手早く知るための一助とするべく、この大作を論考しています。

『ターミネーション・ショック』は紙書籍版と電子書籍版をご用意しております。全国の書店、販売店、オンライン書店、電子書籍配信サイトで 2025 年 10 月 15 日よりご購入いただけます。

■『ターミネーション・ショック』書誌情報

ニール・スティーヴンスン 著／坂村 健 解説／山田 純 訳

紙書籍版

四六判 並製 696 ページ
定価 3,080 円(本体価格 2,800 円+税 10%)
ISBN 978-4-89362-416-1 C0097

電子書店版

EPUB 版、リフロー型
定価 2,966 円(本体価格 2,660 円+税 10%)

■『ターミネーション・ショック』内容紹介

——地球を冷やす禁断の技術 破天荒な英雄たちによる地球改造の「神話」——

物語はテキサスの地方空港を舞台に始まる。ネーデルラント(オランダ)の女王サスキア自ら操縦する小型機が、滑走路に乱入した野ブタと衝突して不時着。その場に居合わせたのが、テキサスで巨大な野ブタを追っていたハンターのルーファス。サスキアをその場から助け出すと、彼女と行動を共にすることになる。

世界が気候変動による海面上昇や異常気象に苦しむ中、テキサスの億万長者である T.R.シュミット博士は、「世界最大の銃=ビッグガン」とよばれる巨大な装置をメキシコ国境近くに建設し、二酸化硫黄を成層圏に継続的に散布する計画を進めていた。これは 1991 年のフィリピン・ピナトゥボ山噴火が一時的に地球を冷却した現象を模倣したもので、太陽光を反射して地球の気温を下げることを目的としている。この計画は、世界の政府や科学界が気候変動対策に合意できない状況下で T.R.が独断で行っているものだった。彼は、オランダ、ヴェネツィア、太平洋の島々など、海面上昇の脅威に晒される低地国家や地域の有力者や資産家を招いた発射実験によって、計画を既成事実化してしまう。

T.R.のソーラー・ジオエンジニアリング計画は、一部の地域を救う一方で、別の地域の天候パターンを乱すなど、意図せぬ結果をもたらす可能性があった。こうして、計画の支持者と反対者の間で国際的な対立が激化していく。登場人物たちはそれぞれの立場で地球規模の危機に立ち向かうことになる。

舞台は、テキサス、オランダ、ヴェネツィア、ヒマラヤ山脈、インドネシアなど世界各地に及ぶ。それぞれの地で繰り広げられる物語は、複雑なプロットと個性的なキャラクターに彩られ、登場人物のルーツや文化的・政治的背景と複雑に絡み合って進んでいく。

■著者紹介

著者：ニール・スティーヴンソン(Neal Stephenson)

1959 年アメリカ生まれ。現代アメリカを代表する SF 作家の一人。ヒューゴー賞、クラーク賞、ローカス賞、プロメテウス賞などを複数回受賞。

テクノロジー業界に影響を及ぼした作品も多く、メタバースという言葉を生み出した『スノウ・クラッシュ』、暗号資産を予見する『クリプトノミコン』、ナノテクノロジーが発達する未来を描いた『ダイヤモンド・エイジ』、月崩壊と人類存続を描く『七人のイヴ』などで知られる。『スノウ・クラッシュ』は米 TIME 誌の All-TIME 100 Novels(史上最高の英語小説 100 選)にも選ばれた。

解説：坂村 健(さかむら けん)

電腦建築家、工学博士、東京大学名誉教授、INIAD(東洋大学情報連携学部)創設者、同 cHUB(学術実業連携機構)機構長。

オープンなコンピュータアーキテクチャ TRON を構築。家電製品、車のエンジン制御、宇宙機の制御などに世界中で多数使われている。

IEEE Life Fellow、IEEE Golden Core Member。2003 年紫綬褒章受章、2006 年日本学士院賞、2015 年 ITU150 Award、2023 年 IEEE Masaru Ibuka Consumer Technology Award 受賞、2024 年瑞宝中綬章受章。2023 年 TRON リアルタイム OS、2024 年 TRON 電腦住宅がそれぞれ IEEE Milestone 認定。

訳者：山田 純(やまだ じゅん)

INIAD cHUB(東洋大学情報連携学部 学術実業連携機構)副機構長、INIAD 客員教授。

■補足情報

パーソナルメディア株式会社について

パーソナルメディア株式会社は、1980 年 6 月の創立以来、「パーソナル」な「メディア」として役立つコンピュータの開発を目標に、TRON(トロン)の成果を活かしたパソコン用ソフトウェア「超漢字」や、T-Kernel(ティーカーネル)を使った組込みシステムなどの開発、販売を行ってきた技術系の会社です。1985 年 4 月には、「メディア」追求の一環として出版事業に進出し、コンピュータやソフトウェアの解説書、コンピュータ技術や歴史、文化を紹介した理工系の一般書などを出版してきました。コンピュータ関連の技術書として、隔月刊の TRON&オープン技術情報マガジン「TRONWARE」をはじめ、『基礎から学ぶ組込み μ T-Kernel プログラミング リアルタイム OS の初歩から実践テクニックまで』『C++と Java でつくるニューラルネットワーク』『はじめてみよう Slack 使いこなすための 31 のヒント』、一般書では『システムの科学 第 3 版』『エニアック』『新・思考のための道具』『サヴォイ・カクテルブック』『未来省』など、多くのロングセラー作品を取り扱っております。

■参考情報、リンク集

パーソナルメディア株式会社の書籍 <https://www.personal-media.co.jp/book/>

『ターミネーション・ショック』特設ページ <https://www.personal-media.co.jp/book/tshock/>

■図表

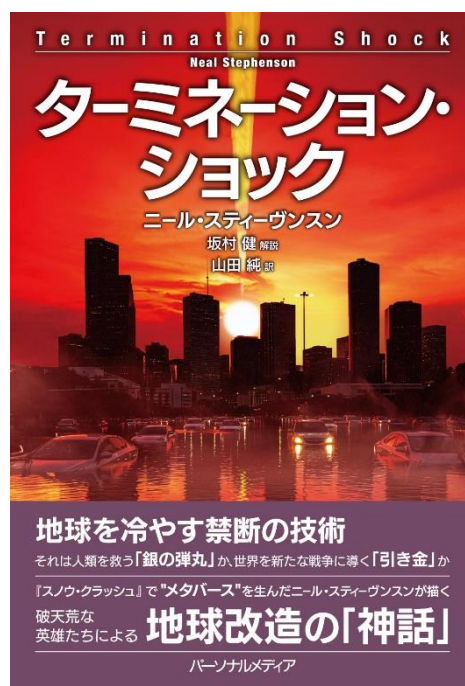
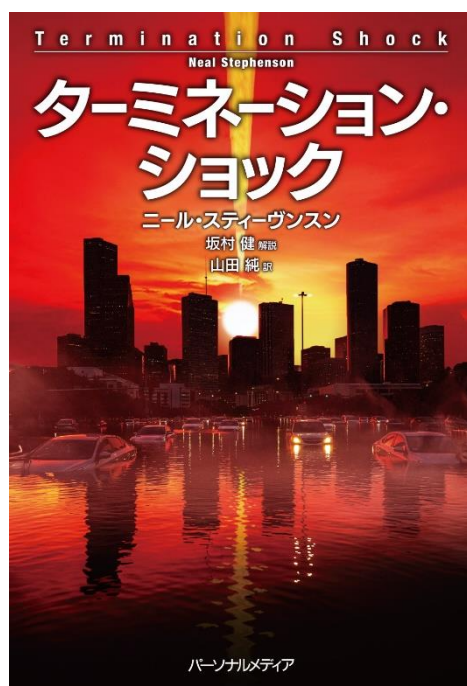


図 1. 『ターミネーション・ショック』書影(帯なし) 図 2. 『ターミネーション・ショック』書影(帯あり)

- * 超漢字はパーソナルメディア株式会社の商標です。
- * TRON は、“The Real-time Operating system Nucleus”の略称です。
- * TRON、T-Kernel は、コンピュータの仕様に対する名称であり、特定の商品を目指すものではありません。
- * 本資料に記載された書籍やコンテンツの内容、外観イメージ、価格などは、発表日現在のものです。ご購入の際は、最新情報をご確認ください。